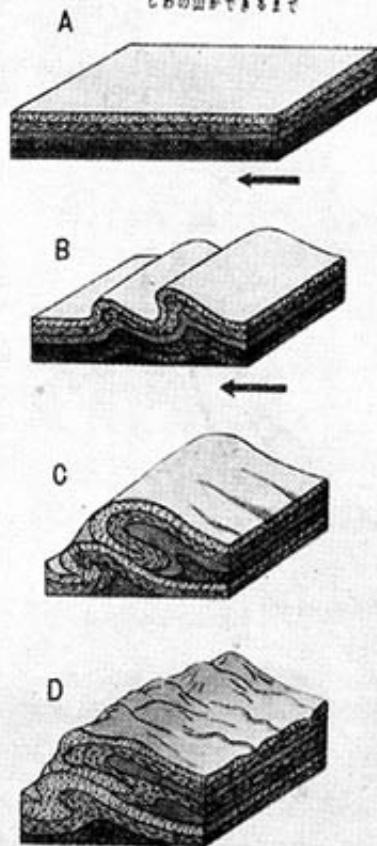


みなさんは、海の底につもってきたかたい岩が、しわ になって高い山を造るということを ふしぎ に思うでしょう。これはちやうど本を横からおすと しわ になってまん中が高まるように、かたい岩も長い長い年月の間おされていると、少しずつ形を変えて しわ ができていきます。

赤石山脈の中で一番高い北岳（白根山）は富士山の次に高い山ですが、その頂上は粘土や砂がかたまった岩からでき、海の生物の化石も見られます。大むかしは海底であつたものが、今では高山植物のお花畑になっているとは、ほんとうにふしぎな気がするでしょう。

しわの山ができるまで



“火山でない山はみんな断層の山か、しわの山かのどちらかですか。”

“実さいの山はなみなかふくざつなもので、一つの原因だけでできている場合はかえって少ないのです。1度しわになってできた山が、後で断層によって形が変えられたり、しわができる時にいっしょに断層ができて、その きれ目 にそって地下からとけた物 をふき出して、火山を造ることもあります。飛騨山脈中に御岳・のりくら岳などの火山があるのは、このような原因で造られたものでしょう。”

これで山のできかたについて、ひととおりの話をしました。実さいに一つの山をとりあげて、この山はどんな原因でできたかをきめることは、とてもむずかしい仕事です。しかし、これから山で地層や岩石などをしらべる時は、同時にその山のできかたも考